

# Photoshop® Quick Master

ver1

## 2024 補足版

バージョン 25.3 (2023 年 12 月リリース)

- ・ 当補足版は、Adobe® Photoshop® 2024 (バージョン 25.3 ) ユーザーがテキスト「Photoshop® クイックマスター (2023 対応)」を使用した場合の操作内容及び操作説明を補足するものです。
- ・ テキスト「Photoshop® クイックマスター (2023 対応)」は、Adobe® Photoshop® 2023 (バージョン 24.3) に対応しています。

	バージョン	リリース	対応テキスト		
Photoshop 2023	24.0	2022年10月	Photoshop クイックマスター (2023対応)		
	24.1	2022年12月			
	24.2	2023年2月			
	24.3	2023年3月			
	24.4	2023年4月			
	24.5	2023年5月	Photoshop クイックマスター (2023対応)	+	2024 補足版 (P3～P8)
	24.6	2023年6月			
	24.7	2023年7月			
Photoshop 2024	25.0	2023年9月	Photoshop クイックマスター (2023対応)	+	2024 補足版
	25.1	2023年10月			
	25.2	2023年11月			
	25.3	2023年12月			

※当補足版は、Adobe® Photoshop® 2024 (バージョン 25.3 )、Windows 10、mac OS ver12.6 の環境で制作しています。

## ■ P.10 (1 Photoshop の起動 (Windows))

手順  
番号

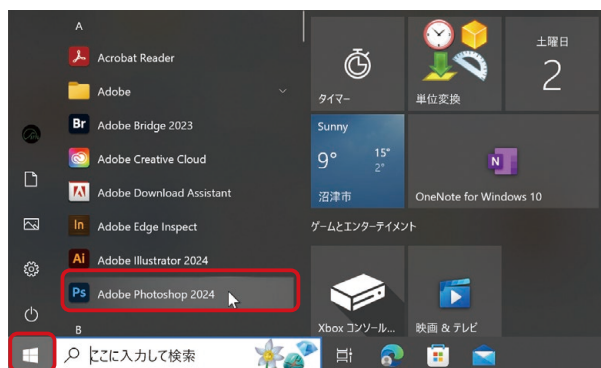
(2023)

(2024)

- 1 [スタート] メニューから **[Adobe Photoshop 2023]** を選択し、Photoshop を起動します。



- [スタート] メニューから **[Adobe Photoshop 2024]** を選択し、Photoshop を起動します。



[スタート] メニュー

## ■ P.10 (1 Photoshop の起動 (Mac))

手順  
番号

(2023)

(2024)

- 2 《Adobe Photoshop 2023》フォルダー内の **[Adobe Photoshop 2023]** をダブルクリックし、Photoshop を起動します。



- 《Adobe Photoshop 2024》フォルダー内の **[Adobe Photoshop 2024]** をダブルクリックし、Photoshop を起動します。



《Adobe Photoshop 2024》フォルダー

## ■ P.49 (6 選択とマスクワークスペース)

手順  
番号

(2023)

(2024)

2

ファイル《1C211.psd》は、メインの被写体が明確なので、[被写体を選択] コマンドを適用し、猫の全体を選択してから詳細な選択範囲を調整しましょう。  
オプションバーの [被写体を選択] ボタンをクリックします。

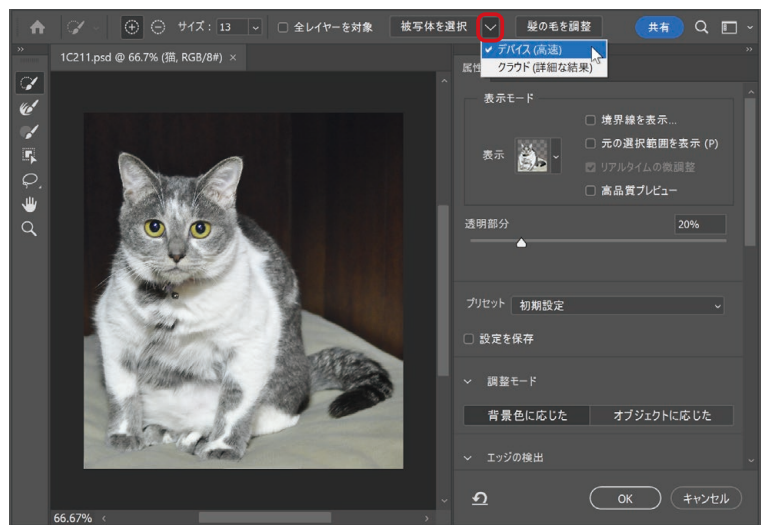


ファイル《1C211.psd》は、メインの被写体が明確なので、[被写体を選択] コマンドを適用し、猫の全体を選択してから詳細な選択範囲を調整しましょう。

オプションバーの [被写体を選択] ボタンの右側の▼をクリックすると、[デバイス (高速)] と [クラウド (詳細な結果)] を選択できます。

[デバイス (高速)] を選択するとより高速な処理ができ、[クラウド (詳細な結果)] を選択すると、クラウドを通じて、より正確な選択範囲を作成することができます。

オプションバーの [被写体を選択] ボタンをクリックします。[デバイス (高速)] を選択します。



[デバイス (高速)] を選択

## ■ P.89 (9 グラデーションツール)

Photoshop 2023 (バージョン 24.5) から、グラデーション機能が改善され、カンバス上でライブプレビューをしながらグラデーションを編集できるようになりました。また、グラデーション塗りつぶしレイヤーが作成され、グラデーションを非破壊的に編集することができます。新しいグラデーションの機能を使用した手順は次の通りです。

### 9 グラデーションツール

PhotoshopQM ▶ 第1部 ▶ Chapter5 ▶ 1C505.psd

- 1 鳥のシルエットにグラデーションを適用してみましょう。  
ツールバーから[自動選択ツール](初期設定では[オブジェクト選択ツール])を選択します。  
中央の鳥の形をクリックして、選択します。

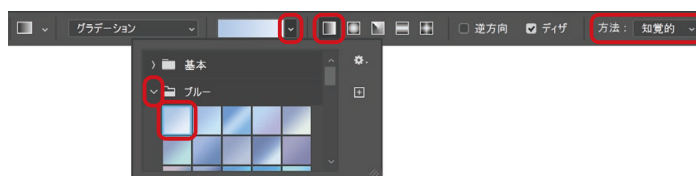


[自動選択ツール]

- 2 ツールバーから[グラデーションツール]を選択します。  
オプションバーの[グラデーションプリセットを選択および管理]をクリックし、グラデーションピッカーを表示します。[ブルー]の左側の[>]をクリックして展開し、[青\_01]を選択します。表示されている5種類のグラデーションのスタイルから、[線形グラデーション]を選択し、オプションバーの[方法:]で[知覚的]を選択します。

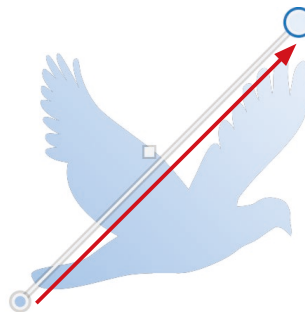


[グラデーションツール]



オプションバーの設定

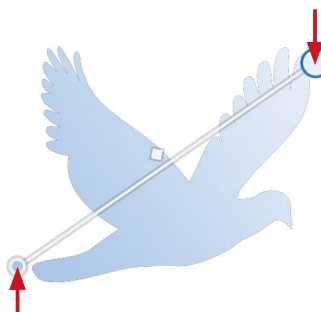
- 3 選択範囲の左下から右上に向かってドラッグします。  
ドラッグの始点から終点の間にグラデーションが適用され、グラデーションウィジェットが表示されます。



ドラッグしてグラデーションを適用

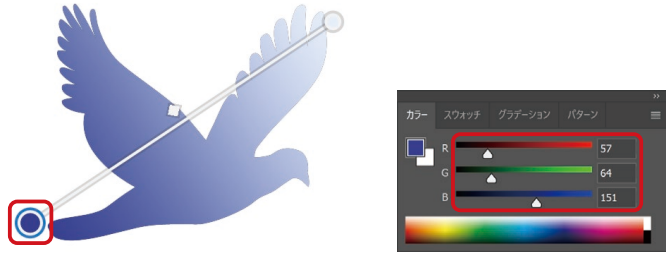
- 4 グラデーションウィジェットの両端の円(カラー分岐点)をドラッグすると、グラデーションの長さや角度を変更することができます。  
グラデーションウィジェットの両端の円をドラッグして、右図のようなグラデーションになるように位置を調整しましょう。

なお、グラデーションの作成をやり直したい場合は、再度、カンバス上をドラッグします。



ウィジェットの両端の円をドラッグしてグラデーションを編集

- 5 グラデーションのカラーを変更してみましょう。  
グラデーションウィジェットの始点の円を選択し、[カラー] パネルで「R : 57 G : 64 B : 151」に設定します。



ウィジェットの始点の円を選択してカラーを設定

グラデーションウィジェットの終点の円を選択し、[カラー] パネルで「R : 200 G : 0 B : 133」に設定します。

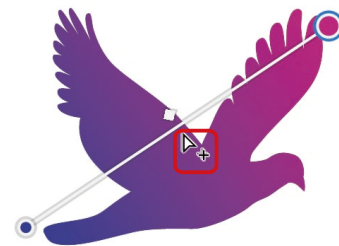
グラデーションのカラーが変更されました。

グラデーションウィジェットの円をダブルクリックして [カラーピッカー] ダイアログを表示し、カラーを設定することもできます。



ウィジェットの終点の円を選択してカラーを設定

- 6 グラデーションにカラー分岐点を追加してみましょう。  
グラデーションウィジェットの中央の少し下をクリックします。



カラー分岐点を追加したい場所をクリック

カラー分岐点が追加されたら、[カラー] パネルで「R : 255 G : 255 B : 100」に設定します。

カラー分岐点は、いくつでも追加することができます。また、削除する場合は、カラー分岐点をグラデーションウィジェットの外へドラッグします。



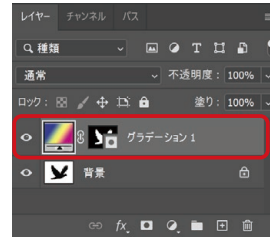
追加したカラー分岐点のカラーを設定

- 7 カラー分岐点とカラー分岐点の間にカラー中間点が表示されています。カラー中間点を中央のカラー分岐点の方向にドラッグして移動してみましょう。  
中央のカラー分岐点に設定したカラーの範囲が狭くなりました。



カラー中間点を移動

- 8 [レイヤー] パネルを確認してみましょう。  
グラデーションは、[グラデーション塗りつぶし]  
レイヤーに作成されているので、元の画像を非破  
壊的に編集することができます。



グラデーション塗りつぶしレイヤー

- 9 [レイヤー] パネルで[グラデーション塗りつぶし]  
レイヤーが選択されている状態で[プロパティ]  
パネルを確認してみましょう。  
[プロパティ] パネルでグラデーションのスタイ  
ル、カラー分岐点のカラーや位置などを設定す  
ることができます。

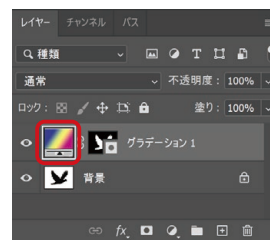


【グラデーション塗りつぶし】レイヤーのプロパティ

## ■ P.90 (10 グラデーションエディター)

【クラシックグラデーション】(従来のグラデーション) では、オプションバーの【クリックでグラデーションを編集】をクリックすることで【グラデーションエディター】ダイアログが表示され、グラデーションの詳細な設定ができますが、新しい【グラデーション】では、オプションバーから【グラデーションエディター】ダイアログを表示することができません。新しい【グラデーション】で【グラデーションエディター】ダイアログを表示するには、以下の操作を行います。

- 1 [レイヤー] パネルの[グラデーション塗りつぶし]  
レイヤーのサムネールをダブルクリックします。



【グラデーション塗りつぶし】レイヤーのサムネールをダブルクリック

- 2 【グラデーションで塗りつぶし】ダイアログの【ク  
リックでグラデーションを編集】をクリックしま  
す。

【グラデーションエディター】ダイアログが表示  
されました。



【クリックでグラデーションを編集】をクリック

## ■ P.116 (Point [色調補正] パネルから調整レイヤーを作成する)

Photoshop 2023 (バージョン 24.5) から、[色調補正] パネルに [調整プリセット] が追加され、さまざまな調整レイヤーを使用した色調補正を、ワンクリックで適用することができます。

PhotoshopQM ▶ 第 1 部 ▶ Chapter4 ▶ 1C405.psd

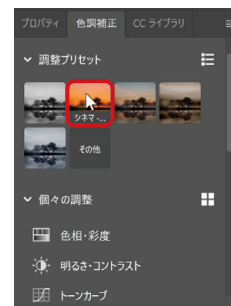
- 1 メニューバーから [ウィンドウ] - [色調補正] を選択し、[色調補正] パネルを表示します。  
[色調補正] パネルの [調整プリセット] のサムネールにポインターを合わせると、調整プリセットを適用した結果をプレビューすることができます。



元の画像



プレビュー



サムネールをポイント

- 2 [調整プリセット] の [その他] をクリックし、その他の調整プリセットを表示します。  
[写真の修復] をクリックして展開し、[コントラスト (暖色系)] をクリックします。



[その他] をクリック



[コントラスト (暖色系)] をクリック

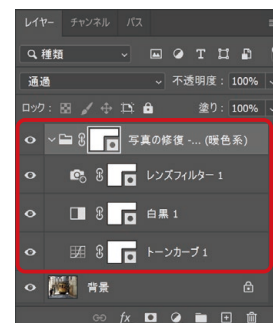
画像にプリセット [コントラスト (暖色系)] が適用されました。

[レイヤー] パネルを確認すると、[写真の修復 - コントラスト (暖色系)] グループの中に 3 つの調整レイヤーが作成されています。

調整レイヤーを選択し、[プロパティ] パネルから設定内容を変更することができます。



[コントラスト (暖色系)] 適用後



[レイヤー] パネル



## 【新機能 1】 コンテキストタスクバー

Photoshop 2023 (バージョン 24.5) から、レイヤーや画像を選択した時にコンテキストタスクバーが表示され、よく使用する操作をすばやく実行できるようになりました。

PhotoshopQM ▶ 第 1 部 ▶ Chapter2 ▶ 1C207.psd

- 1 画像を開くと、アートボードの下にコンテキストタスクバーが表示されます。



コンテキストタスクバー (画像を開いた直後の状態)

- 2 コンテキストタスクバーの「背景を削除」ボタンをクリックしてみましょう。  
レイヤーマスクが作成されて、背景が非表示になりました。レイヤーマスクを選択した状態では、コンテキストタスクバーの内容がレイヤーマスクに対する操作に変わっていることがわかります。

このように、コンテキストタスクバーの内容は、選択しているレイヤーや選択範囲によって最適な機能が表示されます。



コンテキストタスクバー (レイヤーマスクを選択した状態)

- 3 コンテキストタスクバーは、移動したり、非表示にしたりすることができます。  
コンテキストタスクバーの左端をドラッグしてコンテキストタスクバーを移動してみましょう。

コンテキストタスクバーの「…」をクリックし、「バーの位置をピン留め」を選択すると、コンテキストタスクバーが表示される場所を固定することができます。



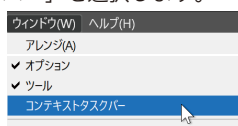
ドラッグしてコンテキストタスクバーを移動



コンテキストタスクバーの位置をピン留め

コンテキストタスクバーの「…」をクリックし、「バーを非表示」を選択します。  
コンテキストタスクバーが非表示になりました。

- 4 再度、コンテキストタスクバーを表示してみましょう。  
メニューバーから「ウィンドウ」→「コンテキストタスクバー」を選択します。



コンテキストタスクバーが表示されました。



コンテキストタスクバーを非表示

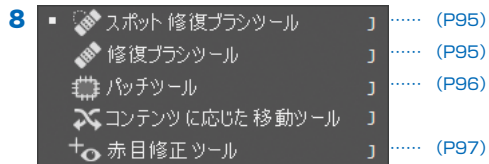


## 【新機能 2】 削除ツール

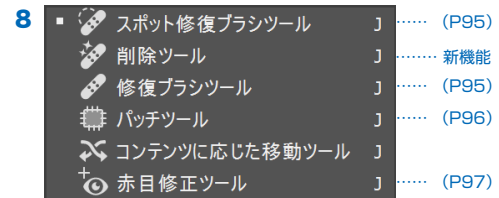
Photoshop 2023 (バージョン 24.5) から [削除ツール] が追加され、画像内の不要なオブジェクトを削除し、その領域に自然な画像を生成して違和感のない削除ができるようになりました。Photoshop 2024 (バージョン 25.1) からは、削除したいオブジェクトを囲むだけで削除できます。

P.7 (ツール一覧)

(2023)



(2024)



Photoshop 2024 hosoku ▶ psShinkinou2.psd

1

ツールバーの [スポット修復ブラシツール] を長押しし、[削除ツール] を選択します。  
オプションバーの [サイズ] で、削除したい領域よりも少し大きいサイズのブラシに設定します。

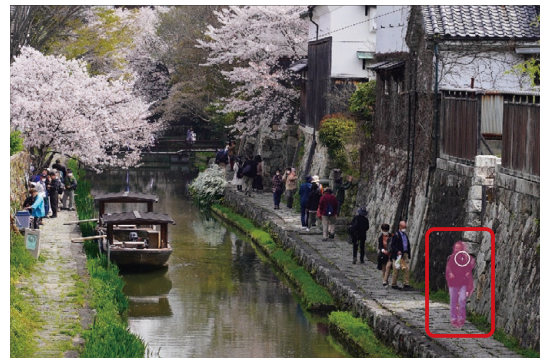


【削除ツール】のオプションバーでサイズを設定

2

削除したいオブジェクトを塗りつぶします。塗りつぶしが完了すると、オブジェクトが削除され、削除された領域が違和感のない画像で塗りつぶされます。

Photoshop 2024 (バージョン 25.1 ~) では、[削除ツール] で削除したい領域を完全に塗りつぶさなくても、オブジェクトを囲むだけで削除することができます。



【削除ツール】で削除するオブジェクトを塗りつぶす

3

複数の領域を削除する場合は、オプションバーの [各ストローク後に削除] のチェックをはずして、削除したい領域を塗りつぶします。

塗りつぶしが完了したら、「Enter (return)」キーを押して、削除を実行します。



【各ストローク後に削除】のチェックをはずす



【削除ツール】で複数の領域を塗りつぶす



【削除ツール】適用後

## 【新機能 3】 生成塗りつぶし

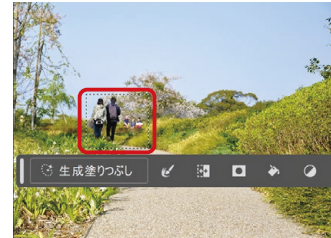
Photoshop 2024 (バージョン 25.0) から、Adobe の生成 AI「Adobe Firefly」を使用し、画像から不要なオブジェクトを削除したり、新たなオブジェクトを追加したりすることができるようになりました。(従来の「コンテンツに応じた塗りつぶし」や「選択範囲を削除して塗りつぶし」でも不要なオブジェクトを削除することができますが、「生成塗りつぶし」では、より違和感のない自然な塗りつぶしが可能です)

### PhotoshopQM ▶ 第 1 部 ▶ Chapter5 ▶ 1C515.psd

1 [長方形選択ツール] などの選択ツールで画像から削除したい範囲を選択します。

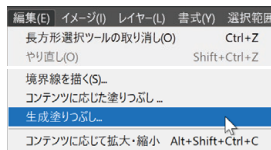


【長方形選択ツール】

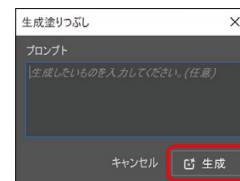


画像から削除したい部分を選択

2 メニューバーの【編集】—【生成塗りつぶし...】を選択します。(または、コンテキストタスクバーの【生成塗りつぶし】ボタンをクリックします)



(初めて生成塗りつぶしを使用する場合は【アドビアプリの生成 AI】の画面が表示されるので、【同意する】ボタンをクリックします)



【生成】ボタンをクリック

3 【生成塗りつぶし】ダイアログの【生成】ボタンをクリックします。(または、コンテキストタスクバーの【生成】ボタンをクリックします) 【プロンプト】を空欄のままにして生成すると、選択範囲内の画像が削除され、生成 AI によって違和感のない画像で塗りつぶされます。

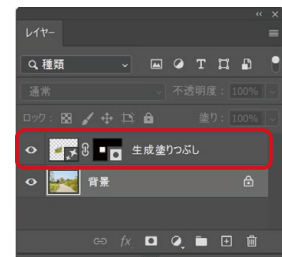


【生成】ボタンをクリック (コンテキストタスクバーを使用した場合)

画像は、【生成】レイヤー (【生成塗りつぶし】レイヤー) に生成されています。【レイヤー】パネルで【生成塗りつぶし】レイヤーの表示 / 非表示を切り替えて、編集前の画像と比較してみましょう。



【生成塗りつぶし】適用後



生成されたレイヤー

4 次に、画像内にオブジェクトを追加してみましょう。

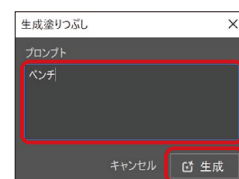
【レイヤー】パネルで【背景】レイヤーを選択し、【長方形選択ツール】などの選択ツールでオブジェクトを追加したい範囲を選択します。



オブジェクトを追加したい範囲を選択

5 メニューバーの【編集】—【生成塗りつぶし...】を選択します。(または、コンテキストタスクバーの【生成塗りつぶし】ボタンをクリックします)

6 【生成塗りつぶし】ダイアログの【プロンプト】に「ベンチ」と入力して、【生成】ボタンをクリックします。(または、コンテキストタスクバーのテキスト入力プロンプトボックスに「ベンチ」と入力して、【生成】ボタンをクリックします)



テキストプロンプトの入力



テキストプロンプトの入力 (コンテキストタスクバーを使用した場合)

- 7 画像にベンチが生成されました。  
(生成されるオブジェクトは、右の写真と異なる場合があります)



ベンチを生成して追加

【レイヤー】パネルには、新しい【生成】レイヤー（【ベンチ】レイヤー）が作成されています。

【生成】レイヤーを選択すると、【プロパティ】パネルでプロンプトに入力するテキストを変更したり、バリエーションから画像を切り替えることができます。

生成した画像を切り替えるには、バリエーションに表示されているサムネイルをクリックします。

再度、【生成】ボタンをクリックすると、更にバリエーションを生成することができます。



【プロパティ】パネルでバリエーションを切り替え



## 【新機能 3】生成拡張

Photoshop 2024 (バージョン 25.0) から、Adobe の生成 AI 「Adobe Firefly」を使用し、キャンバスサイズを広げた際に、広げた領域の画像を生成して補うことができるようになりました。

 PhotoshopQM ▶ 第 1 部 ▶ Chapter5 ▶ 1C515.psd

- 1 【切り抜きツール】を選択し、オプションバーの【塗り】で【生成拡張】を選択します。



【切り抜きツール】のオプションバーの設定

- 2 コーナーハンドルを外側にドラッグして、キャンバスサイズを広げ、「Enter (return)」キーを押します。(または、コンテキストタスクバーで【生成】ボタンをクリックします)



コーナーハンドルをドラッグしてキャンバスサイズを広げる

キャンバスを広げた領域に画像が生成されました。画像は、【生成】レイヤー（【生成拡張】レイヤー）に生成されています。



生成拡張後